

平成 23 年北秋田市議会 3 月定例会行政報告

北秋田市議会 3 月定例会が開催されるにあたり、12 月 7 日以降の主な事項及び今後予定している事項について報告いたします。

市長部局

総務部

<総務課関係>

1 月に入り降雪量が増加し、積雪深が阿仁合で 106cm、比立内で 129cm に達したことから、1 月 11 日「北秋田市災害警戒部」を設置しました。その後も降雪は続き、積雪深は平年値を大きく上回って推移しています。1 月 18 日には阿仁地区で雪降ろし作業中に死亡事故が発生したため、広報車等を使用して作業時の安全確認を呼び掛けしております。現在、積雪量は減少傾向にあります。今後関係機関との連絡を密にし情報収集に努めるとともに、雪害を最小限に抑えるため警戒を続けます。

平成 21 年度予算（繰越明許費）に計上しておりました全国瞬時警報システム整備事業については、1 月 27 日工事請負契約を締結しております。

米内沢診療所開設に伴う職員採用試験については、看護師 18 人、臨床検査技師 2 人、診療放射線技師 6 人、理学療法士 1 人、事務職員 20 人の応募があり、2 月 20 日に試験を実施しております。

<総合政策課関係>

秋田大学との連携事業については、12 月 4 日、11 日に英語、1 月 6 日に理科、1 月 29 日には保育の専門職を対象とした各種講座を行いました。また、山の芋料理コンクールに学生が参加するなど、地域の特産品を PR するための取り組みも行い、地域の活性化に向けた分校運営を行いました。

平成 22 年 12 月 27 日に秋田県が公表した「平成 22 年国勢調査速報県集計結果」によると、北秋田市の人口は 36,397 人、世帯数は 12,838 世帯で、平成 17 年同調査と比べ、人口は 3,652 人（9.1%）の減少、世帯数は 828 世帯（6.1%）の減少となりました（平成 22 年 10 月 1 日現在）。

今後、総務省において、各世帯が記入した調査票を集計し、精査した確定値が平成23年10月から順次公表される予定となっています。

〈内陸線再生支援室〉

マイレール意識を向上し内陸線の乗車促進を図る目的のスタンプラリーが、昨年の10月から2月末までの期間で実施されました。1回目の締切となった12月末の応募者は345人で、九州や関西などからも応募がありました。2回目は2月末に締め切られ、3月には温泉宿泊券などが当たる抽選会が行われます。

市内4高校の統合で新たに北鷹高校が誕生することに伴い、通学列車の見直しなどが行われた内陸線のダイヤ改正が発表されました。改正では合川、米内沢両校の生徒が利用した通学列車の廃止や利用の少ない列車の一部区間の廃止など1.5行路を削減し、経営の効率化を目指しています。新ダイヤは3月12日から運用されます。

財 務 部

〈財政課関係〉

平成22年11月19日から平成23年2月17日までの工事等発注状況（500万円以上）は、別紙のとおりとなっております。

工事等発注一覧表
 ※ 500 万円以上(消費税含む)

平成22年11月19日～平成23年2月17日

| 工事名(業務名) | 契約年月日 | 契約額 (千円) | 請負業者名 |
|-------------------------------|-----------|-------------|---------------------|
| 税務 LAN システムバージョン8導入及び保守委託 | H22.11.29 | 5,062 | (株)日情秋田システムズ |
| 財務部 1 件 | | 5,062 | |
| 道路維持工事(市道 羽根山沢線) | H22.12.24 | 5,964 | (有)工藤設備工業所 |
| 災害防除工事(市道 萱草地蔵岱線) | H23.2.14 | 19,372 | (株)上杉組 |
| 合川地区統合簡易水道施設整備事業 高長橋橋梁添架管布設工事 | H22.12.7 | 42,525 | (株)佐藤庫組 |
| 阿仁川災害復旧助成事業に伴う水道管移設工事 | H22.12.8 | 32,130 | 秋田土建(株) |
| 南部1号幹線工事(鷹巣処理区その2) | H22.12.10 | 36,435 | (有)丸栄建設 |
| 面整備工事(鷹巣処理区その4) | H22.12.10 | 36,225 | 秋田機械建設(株) |
| 下水道管移転工事 | H22.12.24 | 10,500 | 神成土建(株) |
| 面整備工事(鷹巣処理区その5) | H23.1.14 | 23,625 | (株)芳賀工務店 |
| 建設部 8 件 | | 206,776 | |
| 農業災害復旧工事(下綱地区) | H23.1.17 | 10,395 | 長岐・ビルト・ミヤノ経常建設共同企業体 |
| 村づくり交付金(合川地区)第01505号工事 | H23.1.14 | 6,825 | (有)喜組 |
| 阿仁川災害復旧事業に伴う温泉管移設工事 | H22.12.24 | 5,460 | 秋田土建(株) |
| 産業部 3 件 | | 22,680 | |
| 中型バス | H23.1.13 | 11,760 | 西東北日野自動車(株)大館営業所 |
| 阿仁中学校体育館カーテン設置工事 | H23.2.3 | 5,040 | 秋田・花岡特定建設工事共同企業体 |
| 教育委員会 2 件 | | 16,800 | |

| | | | |
|----|------|--|---------|
| | | | |
| | | | |
| 合計 | 14 件 | | 251,318 |

市民生活部

〈生活課関係〉

1月9日、北秋田市中心公民館において、北秋田地区交通・防犯指導隊連合会安全祈願式及び観閲式を開催しました。祈願式では平成23年中の各種活動の安全を祈願し、観閲式では服装及び規律の確認を行いました。

今年も指導隊、警察署等関係団体と連携した活動を行い、市民の交通安全の確保や安全・安心なまちづくりに努めていくことを確認しました。

2月1日、安全3法に基づく立入検査を実施しました。これは、日常使用する家庭製品による事故を防止し消費者の安全を守るため、店舗で販売されている商品に法律で定められた表示項目があるかなどを確認するものです。市内9店舗にご協力いただき、石油ストーブなど19品目を検査した結果、検査対象商品についてはすべて適正に販売されておりました。

クリーンリサイクルセンターの平成22年4月から平成23年1月までのごみ搬入実績は、約10,609トン（北秋田市分は約9,960トン）で、前年度に比較して88トン（北秋田市分約46トン）の増加となっております。

また、センター視察によりゴミの処理、分別について理解を深めようと市内及び上小阿仁村の小学校、自治会の方々がクリーンリサイクルセンターを訪れました。22年4月から23年1月までの内訳は小学校15校333名、自治会2団体56名となっております。

〈総合窓口課関係〉

平成23年1月末日現在の住民登録者数は、37,159人で、その内訳は男17,452人、女19,707人世帯数は14,555世帯となっております。

一般旅券(パスポート)の交付件数は、平成22年11月から平成23年1月末日現在で71件の交付となっております。

国民健康保険では、インフルエンザの予防や重症化防止のため、健康推進課で実施している接種対象者のほか高校生から64歳までの被保険者についても支援の輪を広げ、新型インフルエンザ(混合ワクチン)の接種費用を補助しております。市内の医療機関で3月末までに接種した場合に限り1回につき1,500円を接種回数分補助するもので、12月末現在で延べ675人へ1,012,500円を補助しております。

健康福祉部

〈福祉課関係〉

民生委員児童委員の一斉改選では、定数150名のうち新任委員49名、再任委員100名が12月1日付けで厚生労働大臣から委嘱状を受け、地域福祉の活動に努めております。

災害時要援護者避難支援制度(全体計画)については、現在庁内での協議が進められており、今年度中の完成を目指し、現在運用されている制度の見直しと、要援護者の把握及び制度の周知に努めてまいります。

赤十字災害救援車両の配置寄贈事業について、2月2日に日本赤十字社秋田県支部より災害救援車両及びAED各1台が寄贈され、森吉総合窓口センター(救援車両)、大阿仁出張所(AED)に配置しております。

平成23年度の保育園入園申込みについては、1月31日現在で公立保育園502人(定員626人)、私立396人(定員360人)の申込みがあり、2月に入園審査と入園決定を行っております。

子ども手当2月定期払いについては、2月4日に対象者1,949名へ支給しております。

虐待防止等総合支援地域協議会が2月24日に開催され、要保護児童支援部会・高齢者支援部会・障がい者支援部会からの報告及び関係機関との情報交換により、虐待防止に対する意識の向上が図られました。

障がい者の相談支援拠点である障害者生活支援センターの1月末現在の延べ利用者は、来所5,542人、訪問847人、電話相談2,253件で、今後も関係機関や地域との連携により事業の充実、拡大を図ってまいります。

障害者自立支援法による自立支援給付事業は、1月末現在で、介護給付112人、訓練給付80人、旧法施設支援114人、自立支援医療508人となっており、地域生活支援事業では、日常生活用具80人、コミュニケーション支援3人、日中一時支援29人の利用となっております。

<高齢福祉課関係>

福祉の雪事業については、1,211世帯（2月15日現在）が登録しており、18年豪雪の1,239世帯に次ぐ登録数となっております。登録総数は昨年度より127世帯多く、高齢一人暮らし世帯は795世帯、高齢者のみの世帯は371世帯、その他の世帯は45世帯となっております。また、12月から2月上旬までの作業実績では、利用があった世帯は1,029世帯、延利用回数は7,012件となっております。作業額は19,322,693円、扶助費は13,915,395円となっており、40,000円の限度額利用世帯は88世帯という状況であります。

介護保険事業については、適切なサービス提供により介護保険制度を支え維持するため介護給付等費用適正化事業に取り組んでおり、介護支援専門員研修やケアプランチェックを実施しております。2月9日に開催した介護支援専門員研修会は、「適正なケアプラン作成」をテーマとし、事業所から69名の参加がありました。

地域包括支援センターについては、認知症高齢者を支えるためのネットワーク構築に向けて、旧町単位4地区でネットワーク懇談会を開催し、47名が参加して意見交換が行われました。

また、地域支援事業における任意事業として、居宅支援事業所のケアマネージャーの協力をいただき在宅介護者を支えるための交流会を開催したところ、42名の参加があり支え手同士の会話や軽体操等で心と体のリフレッシュが図られました。

ひまわりの家については、12月29日から1月3日まで年末年始の臨時営業を実施し、入館者は773名で利用者から好評を博しました。

<医療推進課関係>

市民病院と最寄り調剤薬局間の患者送迎については、北秋田市社会福祉協議会に運行をお願いしており、その実績は往復延べ人数で12月113人、1月273人となっております。

市民病院の利便性向上の一環として実施した「医療提供状況調査」については、1月に委託業者から報告を受け、市民病院の運営に関する改善事項について厚生連に申し入れしております。

4月開設の米内沢診療所に合わせ、公立米内沢総合病院に入院されている方々には、スムーズに退院できるよう鋭意取り組んでおります。また、北秋田市上小阿仁村病院組合解散に伴う米内沢病院職員の就職斡旋については、再就職先等の情報発信及び再就職相談を実施しております。

<健康推進課関係>

12月10日、医療団体との業務協議会が北秋田市交流センターで開催され、行政と各医療・保健関係機関との情報交換が行われました。

成人検診事業については、1月末現在で特定健康診査の結果、動機づけ支援対象者は252人、積極的支援対象者は78人となっており、特定保健指導実施者数は、動機づけ31人、積極的支援

18 人の合わせて 49 人となっております。女性特有のがん検診対策（子宮頸がん・乳がん）については、子宮頸がん 187 人、乳がん 336 人の受診となっております。また、65 歳以上の介護予防健診から、特定高齢者となった方を対象に運動機能向上・口腔機能向上・栄養改善・閉じこもり予防等の介護予防事業を実施しており、70 人の参加となっております。介護予防ボランティア講座は 2 月 2 日に終了し、5 回実施し参加者は延べ 112 人、うち 3 回以上受講された 6 名の方に修了証を授与しております。

生活習慣病予防事業については、すこやか健康講座を「がん」をテーマに 4 回開催し、480 人の参加がありました。

心の健康づくり・自殺予防事業については、12 月 1 日北秋田市交流センターで「いのちとこころのシンポジウム」を開催し、120 人の参加がありました。対面型相談支援事業は 1 回平均 2 名の相談があり、うつ病・産後うつ症状・社会不適應等に悩む方々に対応しております。また、電話相談支援事業は民間団体に委託し、16 人の相談報告をうけております。ふれあい相談員の養成講座については、6 名の方が新しく相談員となりました。

肺炎球菌ワクチン予防接種については、1 月末現在で 264 人、インフルエンザ予防接種については、1 月末現在で 12,766 人が接種を受けており、それぞれ接種費用の一部及び全額公費助成をしております。MR ワクチン（麻しん・風しん）予防接種については、1 月末現在で 915 人が接種を受けております。

母子保健事業については、母子健康手帳交付数が 1 月末で 135 人、母体健康増進事業としての妊婦健診受診券も併せて交付しております。出産を迎える夫婦のマタニティ講座も 1 月末で 6 回終了し、44 組 77 人が受講され、乳児と保護者の参加も 22 組 47 人となっております。また、子どもの健康を考える連絡会を 12 月 10 日に開催し、子宮頸がん予防ワクチンについての研修及び実施に向けての意見交換を行っております。

乳幼児育成連絡会議を 12 月 28 日に開催し、乳幼児健診担当小児科医師・幼稚園・保育園等関係機関の担当者 16 名で意見交換会を行っております。

フッ素洗口事業については、1 月末現在で小学生 1,110 人、中学生 567 人、保育園・幼稚園児 172 人の実施となっております。

献血実施状況については、1 月末現在で成分献血 45 人、全血献血 727 人となっております。

<市立阿仁診療所関係>

平成 22 年 12 月末までの医科外来患者数は 15,399 人（1 日平均 88.7 人）で、内科 7,672 人、外科 7,727 人となっており、保険別の内訳は、国民健康保険加入者 3,226 人（21.0%）、社会保険加入者 1,682 人（10.9%）、後期高齢者医療保険加入者 9,850 人（64.0%）、その他 641 人（4.1%）で、前年同期対比で 830 人が減少しております。

また、歯科の外来患者総数は3,109人（1日平均15.2人）で、前年同期対比で84人の減少となっております。

〈国民健康保険合川診療所関係〉

平成22年12月末までの外来患者総数は12,436人（1日平均56.5人）で、その内訳は国民健康保険加入者2,535人（20.4%）、社会保険加入者1,028人（8.2%）、後期高齢者医療保険加入者8,591人（69.1%）、その他282人（2.3%）で、前年同期比較で1,983人の増加となっております。

産 業 部

〈農林課関係〉

平成23年産米の生産目標数量については、先に県より需要量に関する情報として、当市に17,638tが提示されました。

面積に換算すると、3,266.3haの作付面積となります。

前年と比較すると926t（△5.0%）の減、面積換算値では、164.7haの減となっております。

これに基づき、1月14日に北秋田市米政策推進協議会を開催して、鷹巣地域水田農業推進協議会（9,622t）、阿仁部地域水田農業振興協議会（8,016t）に情報提供をしたところであり、1月27日に阿仁部地域水田農業振興協議会、2月10日には鷹巣地域水田農業推進協議会が開催され、各協議会が作成した生産調整方針に基づき、地域集落代表者に対して生産目標数量が配分されたところです。

昨年7月、8月発生 of ゲリラ的集中豪雨災害による23箇所の復旧事業については、昨年末に1箇所が完成しており、現在17箇所を発注、3月末の完成を目指して工事中であります。

残りの5箇所は、今月中に入札を実施して、春の農作業前には全ての災害復旧事業を終える予定であります。

林業関係については、市有林の育成整備を図るため、計画的に造林、下刈除伐、枝払、間伐、保育など約50haを1月中旬で完了し、良質材の生産と森林資源の有効利活用・資質向上を図っております。

〈商工観光課関係〉

鷹巣地区中心商店街の活性化を図ろうと、12月6日から2月5日まで「第3回北秋田きらきらフェスティバル2010」を北秋田市商工会青年部きらきらフェスティバル実行委員会が、米代児童公園のSLライトアップや樹木の電飾キャンドルナイトなどを行いました。

1月25日に首都圏企業立地協力推進懇談会を東京都で開催し、委員である市出身の企業関係者やふるさと会の皆さまより、企業誘致活動についてご提言をいただきました。翌26日には、秋田県企業誘致推進協議会主催の「あきたリッチセミナー IN OSAKA」に出席し、関西圏の企業に対して積極的にトップセールスを行いました。

緊急雇用事業関係については、1月から5事業、8名を追加し失業者対策に取り組んでおります。

大館能代空港については、1月5日から大阪便が休止になりましたが、羽田空港経由の乗継ぎ割引のPRと東京便の利用促進に努めております。

産出量日本一と言われる「珪藻土」の特性を広く市民の皆さまに知っていただき、市の活性化に繋げていくかを考える機会として、「珪藻土の新たな活用による地域活性化」フォーラムを、2月4日に開催しました。

北秋田市商工会首都圏PRとして2月4日に「美彩館」（秋田県アンテナショップ）を会場に、首都圏のマスコミ・旅行関係者・バイヤーの方々に対して、秋田内陸沿線の観光や特産品、食材などのPRを行いました。

また、2月4日には全国ふれあいショップ「とれたて村」を経営しているハッピーロード大山商店街振興組合（東京都板橋区）を視察してまいりました。「とれたて村」は契約市町村のアンテナショップとして既に体制が確立されており、売れる商品の開発・改良情報や消費者ニーズの把握など多岐に渡る情報交換を行っております。

2月28日には、北秋田市誘致企業懇談会を開催し、市内の誘致企業の皆さまと意見交換を行いました。

個別に企業訪問も行い、企業に対する北秋田市のPRやフォローアップも行っております。

ハローワーク鷹巣管内の有効求人倍率が依然として低水準であることから、緊急雇用奨励金制度を創設し、企業の雇用支援を図っています。

観光振興関係では、1月2日に新春恒例の「大太鼓たたき初め」が大太鼓の館で行われ、約150名の関係者、帰省客など大勢の見物客が見守る中、大音響を轟かせ、同館への誘客と市の発展を祈願しました。

1月8日、台湾から国際チャーター便が大館能代空港に到着し、観光客が県北をはじめとする各地の観光に訪れました。このチャーター便は、台北と大館能代空港、福島空港の3地点を結び1月から2月まで5回の運行計画により行われるもので、今後の空港利用促進や地域活性化に大きな期待を寄せています。

1月8日から9日には高津森クロスカントリースキー場で、第23回森吉山スキー大会及び2011 マスターズスキー森吉山阿仁大会が開催され、市内外から135人の選手が出場し熱戦を繰り広げました。

森吉山の樹氷鑑賞が1月8日から3月13日の日程で始まり、参加された皆さんは果てしなく広がる白銀のうねりと妖しく輝くアオモリトドマツの樹氷群という大自然の素晴らしさを体感しております。

2月12日から13日には第17回鷹巣もちっこ市が大太鼓の館駐車場、特設テントの会場で開催されました。手作り餅、お焼き、大福餅や地元特産品等がズラリと並べ販売され、大勢の人出で賑わいました。

2月19日には「うまい！を明日へ！クマゲラの森再生プロジェクト」の一環として「森吉山フォーラム」と「阿仁スキー場雪っこまつり」が開催され、多数の参加者のもと自然とのふれあいで賑わいました。

2月25日から26日には第23回森吉山スキー大会、第12回森吉山スラローム大会（アルペン・大回転競技）が阿仁スキー場で開催され、多数の参加者のもと熱戦を繰り広げました。

建設部

<都市計画課関係>

年次計画で整備中の市営住宅への火災警報器の設置については、12月上旬に7団地86戸が完成し、今年度で全ての団地に取り付けを終えました。

住宅リフォーム緊急支援事業については、2月15日現在で補助金交付決定数277件、交付決定額40,130千円となっております。

<建設課関係>

地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業（繰越事業）については、計画7件のうち測量設計業務委託（銀山水無線）1件、道路維持工事（大野岱桂瀬線他）5件、及び流雪溝設置工事（大淵地区）1件をそれぞれ発注して、うち6件が完成しております。

地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業（繰越事業）については、計画24件のうち測量設計業務委託（羽根山沢線他）5件、道路維持工事（羽根山沢線他）19件を発注して、うち22件が完成しております。

公共土木施設災害復旧事業については、河川災害復旧工事（大舟木沢川他）4件を発注しております。また、道路災害復旧工事（大印ノロ川線他）8件については、今月下旬の発注に向けて準備を進めております。

〈上下水道課関係〉

上水道事業については、鷹巣字西石ノ巻地内を起点とした緊急連絡管布設工事が完成しております。

簡易水道事業については、小猿部地区簡易水道記録計更新工事、阿仁合簡易水道仕切弁取替工事の2件が完成しております。また、阿仁川災害復旧助成事業に伴う水道管移設工事、高長橋橋梁添架管布設工事の2件を発注しております

公共下水道事業における工事の発注状況については、鷹巣処理区において、脇神字平崎上岱地内の幹線工事と面整備工事、脇神字赤川岱地内の面整備工事の2件をそれぞれ発注しております。

農業集落排水事業における工事の発注状況については、阿仁前田地内の架け替えとなる八幡橋に添架する下水道管移転工事1件を発注しております。

浄化槽市町村整備推進事業については、より一層の普及促進を図るため、1月下旬に未設置世帯の方々への戸別訪問を行いました。目標とする浄化槽の設置基数が確保できなかったことから、2月7日阿仁農村環境改善センターにおいて事業説明会を行っております。

消 防 本 部

〈常備消防関係〉

平成22年中の各種災害概要については、火災の発生が19件で前年比4件の減で、火災種別では建物火災が11件、林野火災3件、車両火災2件、その他火災3件となっております。火災件数は2年連続で減少しておりますが、火災による犠牲者は平成17年以降6年連続で発生しております。

救急出場は昭和47年の救急業務開始から最多出場の1,543件で1,450人を搬送しており、出場件数では前年比148件の増となっております。

事故種別では急病が1,062件で全体の68.8%を占め、次いで一般負傷、交通事故の順となっております。

救助出場は64件で、11人を救出・救助しており、種別では交通事故が47件と最も多くなっております。

また捜索活動は5件で、うち2件は防災ヘリ「なまはげ」により4人が吊り上げ救助されています。

緊急通報システム設置台数は483台で、同装置による緊急通報内容は救急要請が22件、その他に誤報や電源異常での受信が162件となっております。

平成22年中の応急手当の普及活動として、AEDの取り扱い指導を含めた普通、上級、普及員、その他の救命講習会を91回開催し、2,627人が受講しており、受講対象は学校や保育所が38回、福祉施設で26回などとなっております。

住宅用火災警報器の設置推進補助事業の申請状況は、平成22年4月1日から同12月31日まで11自治会、町内会から167世帯分の申請があり交付しております。平成20年7月に開始した同補助事業の累計は、220自治会等のうち140自治会等から4,254世帯分の申請があり1,276,200円を交付しております。

今年に入り、1月中に建物火災が4件発生し、焼死者1名、負傷者1名が発生したことに伴い、1月25日に「火災多発警報」を発令しております。1月中に4件以上の火災が発生したのは、昭和48年からの過去38年間で3回のみであり、昭和61年の6件以来4回目となったものであります。

このため、消防団の協力を得ながら消防車による巡回広報や、市ホームページや、新聞掲載による啓発活動など火災予防・焼死者防止の強化に努めております。

〈非常備消防関係〉

1月4日、北秋田市消防出初式が合川地区を会場に行われ、多数のご来賓と市民の見守る中、約600人の消防団員と婦人消防隊員の分列行進が行われ、合川体育館で行われた式典では、永年勤続や功績が認められた団員の表彰が行われました。

1月22日、23日は市内各地区で文化財防火デーに伴う火災想定訓練を実施しました。鷹巣地区では、県指定文化財の綴子・内館文庫で行い、地域住民約60人の参加をいただきながら文化財愛護と防災の意識を高めるとともに、消防本部、消防団による実戦訓練を実施しております。

教育委員会

〈総務課関係〉

阿仁中学校体育館改築工事は、2月末の進捗率が98%と順調に進んでおります。この工事は耐震性の確保を図る整備事業として安全・安心な学校づくり交付金を活用して進められているもの

で、生徒をはじめ関係者待望の供用開始に向けて最終的な試験・調整が行われております。新体育館は、鉄骨造平屋建て延べ床面積が1,134㎡（旧体育館に比べて382㎡増）で、規模が拡大したことにより使用の利便性も向上いたします。

あきたリフレッシュ学園では、1月17日から3学期が始まっております。当初、県から委託された3年の期間は、この3月で終了しますが、学園生活の成果がその後の学校生活に顕著に現れていることから、県としてはこの事業を是非とも継続したい強い意向であり、市との協議が進められております。

市立幼稚園の在園児は14人で、その内、卒園予定児は7人となっております。

〈学校教育課関係〉

第54回全県中学校スキー大会が鹿角市で行われ、ノルディック種目において男子では木村壮志さん（合川中3年）がフリーで2位、クラシカルで3位に入賞しました。女子ではフリーで佐藤葵さん（阿仁中3年）が優勝、クラシカルで中嶋愛莉さん（鷹巣南中3年）が優勝したほか、両種目において3位までを当市の中学校で独占する大活躍でした。また、合川中が女子リレーで優勝し、学校対抗でも優勝を飾るなどの好成績を収めました。

第47回東北中学校スキー大会においては、合川中が女子リレーで2位、木村壮志さんがフリー、クラシカル3位、中嶋愛莉さんがフリーで3位など多数入賞を果たしました。今後の全国大会でも活躍を期待しております。

小学校においても、市民スキー大会をはじめとする各地でのスキー大会に参加するなど、各校児童が冬場の心身の健康づくりに励んでおります。

2月7日から2日間、沖縄県金武（=きん）町教育委員会の3名が、当市の学力向上の取り組みを学びたいと来市され、3小中学校を視察して意見交換会などが行われました。また、2月1日には、岩手県一関中学校から1名が、鷹巣中学校を訪問されております。各学校では、こうした視察受け入れが、通常の実践についての再点検・再評価の機会にもなっております。

平成22年度の市立小・中学校の卒業予定者は、小学校303人、中学校294人で、将来への大きな期待を胸に、思い出に満ちた学舎を巣立ちます。また、平成23年度入学予定者は小学校227人、中学校294人で、希望に満ちた春を迎えます。

昭和37年の創立以来、49年間の歩みを記してきた市立合川高等学校の閉校式が去る2月4日、高校体育館で挙行され、在校生・元教職員や地域関係者など約300人の方々が、長い歴史を振り返り、感慨をともにする式典に参列しました。同校最後の卒業式は3月3日に行われ、3年生61人が校門を後にし、創立以来の卒業生は6,887人となります。3月18日には1・2年生を送る終了式が行われ、この101人の生徒は、統合校・秋田北鷹高等学校への転学となって、4月8日予定の新校開校式に臨むことになっております。

<生涯学習課関係>

各公民館で開催していた定期講座は順調に運営され、2月末をもって閉講となり、受講生はそれぞれ「文化交流のつどい」などを開催し、学んだ成果などが発表されております。2月22日の高齢者大学（高鷹大学・合川ことぶき大学・森吉大学・阿仁生き活き大学）でも、それぞれの学習活動の締めくくりとしての全体講座が開催され、お互いの交流学習を深めながら生き甲斐づくりが進められました。

放課後児童クラブでは、各地区の冬休みの活動として地域のお年寄りとの餅つきやお正月の伝承遊びを行い、世代間交流をさらに深めております。現在、平成23年度の入会申し込みを受け付け中で、3月中旬には入所決定を行う予定です。

北秋田市のアマチュアバンドの祭典「音祭」が、1月9日に文化会館で行われました。これは、若者の力による地域活性化をめざして、文化会館の自主事業として行われたもので、7組のバンドグループが出演し、館内を盛り上げておりました。また、屋外等で9店が出店する会館初の「食の祭典」も開催され、好評を得ておりました。

1月22日、オペラ歌手村上敏明さんのご家族による「村上ファミリーコンサート」が文化会館で開かれ、村上親子4人が出演し、オペラや成田為三ゆかりの曲などを披露いただきました。当日は地元の合唱団も出演し、美しい歌声で館内を魅了しておりました。

文化財防火デーの消防訓練が1月23日に実施されました。この訓練は、文化財愛護思想と防火意識を高めることを目的にして、地域ぐるみで訓練を展開するもので、当日は、綴子神社境内にある「内館文庫跡」で、消防署員や消防団員に地域住民の方々も加わって、消火器やバケツリレーによる初期消火活動などに真剣に取り組みました。

2月2日、胡桃館遺跡調査検討委員会が発足しました。遺跡の価値や今後の調査方法について専門家の先生方の意見や助言を仰ぐもので、各分野の方々5人に委嘱状が交付されました。

平成22年度北秋田市読書感想文・読書感想画コンクールの審査が2月上旬に行われました。感想文は149点、感想画は441点の応募がありました。感想文は特選8点・入選16点・佳作31点、感想画は特選6点・入選18点・佳作36点が選ばれております。

國學院大學渋谷キャンパスで「縄文人の世界観とカタチ」という企画展（3月19日まで）が開催されております。この企画展は、昨年7月に同大学と当市で結ばれた伊勢堂岱遺跡の調査研究等の相互協力協定によるもので、市内6つの遺跡から出土した約100点の遺物も展示されております。

<スポーツ振興課関係>

12月2日、森吉コミュニティセンターで、北秋田市スキー大会組織・実行委員会が開催され、今シーズンの大会日程と開催場所等を協議しております。12月24日には、市営薬師山スキー場の

スキー場開きが行われ、関係各位とともに、冬期間の健康活動の広場として安全に利用いただきたいとの祈願を行いました。

1月9日、阿仁高津森クロスカントリーコースで、第23回森吉山スキー大会及び第63回大館・北秋田中学校スキー大会クロスカントリー競技が開催され、127人の選手が熱戦を繰り広げました。

1月30日、市営薬師山スキー場で、第4回北秋田市民スキー大会（アルペン競技・クロスカントリー競技）が開催され、小学生の部から壮年の部まで合わせて285人の選手の参加がありました。選手の皆さんに大きな応援が送られ、寒さに負けず頑張る姿は、会場の皆さんの感動を誘っていました。

2月6日、阿仁スキー場では第63回大館北秋田中学校スキー大会・第56回北秋田市学童スキー大会アルペン競技を、北秋田市空港周辺ふれあい緑地広場では学童スキー大会クロスカントリー競技が開催されました。晴天に恵まれ、両会場合わせて286人の選手が参加し、真剣な滑り・走りに、家族の方々や地域の方々の大きな声援が会場に響いていました。